

# エコアクション 21

## 環境活動レポート

対象期間：2012年1月～2012年12月



株式会社エクシング

発行日：2013年3月15日

## 1.組織の概要

### ・事業所名及び代表者氏名

株式会社エクシング  
代表取締役 稲葉明弘

### ・所在地

本 社 : 東京都北区岩淵町39-23  
戸 田 営 業 所 : 埼玉県戸田市中町2-19-9  
朝 霞 営 業 所 : 埼玉県新座市栄3-7-28  
埼玉北営業所 : 埼玉県白岡市高岩752-2  
埼玉中央営業所 : 埼玉県戸田市中町2-19-9 2F

### ・ホームページ

<http://www.x-ing.co.jp/>

### ・環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 : 境田 穰 TEL:03-3901-3111 FAX:03-3901-1196  
Eメール:y.sakaida@x-ing.co.jp

### ・事業活動の内容

LPガス販売 各種ガス器具販売 LPガス配管 住宅リフォーム

### ・事業規模

売上高 約12億円(2010年度)  
従業員数 68名  
本社建物 613㎡  
その他 埼玉県内に4営業所

### ・事業許可

建設業

国土交通大臣(般-19)第7127号

(建築工事業 大工工事業 管工事業 内装仕上工事)

## 2.対象範囲

### ・登録組織名 株式会社エクシング

### ・対象事業所 本社(東京都岩淵町39-23)

戸 田 営 業 所 : 埼玉県戸田市中町2-19-9  
朝 霞 営 業 所 : 埼玉県新座市栄3-7-28  
埼玉北営業所 : 埼玉県白岡市高岩752-2  
埼玉中央営業所 : 埼玉県戸田市中町2-19-9 2F

# 環境方針

## 〈環境理念〉

株式会社エクシングは生活エネルギーの供給、省エネ機器販売及びハウスリフォームを通じて、地域および地球の環境保全ため下記の基本方針を定めて、全社員参加のもと積極的に環境の改善に取り組めます。

## 〈基本方針〉

1. 全社員の環境意識を高め、二酸化炭素の排出量の削減に努め環境負荷の低減に取り組めます。
2. 環境関連に関する法律等を遵守し、継続的に環境マネジメントシステムを運用します。
3. エコドライブ・アイドリングストップなど環境負荷への少ない運転を徹底します。
4. 分別処理を推進し、廃棄物削減に努め、グリーン購入を拡大することにより循環型社会の形成に貢献します。
5. 節水に努め、排水量を低減します。
6. 省エネ機器の販売促進により、お客様の環境負荷の低減に努めます。
7. 社内要所に環境方針を掲示し、全社員に環境マネジメントシステムを徹底します。

制定日 2011年12月1日  
代表取締役社長

稲葉 明弘

#### 4-1.環境目標・環境目標の実績(本社)

##### 中長期目標

	基準年度	2013年度	2014年度	2015年度
1. 二酸化炭素排出量				
・電気 (kg-CO <sup>2</sup> )	18,956	0%(18,956)	0%(18,956)	0%(18,956)
・ガス (kg-CO <sup>2</sup> )	14,677	0%(14,677)	0%(14,677)	0%(14,677)
・ガソリン (kg-CO <sup>2</sup> )	129,763	△5%(123,274)	△6%(121,977)	△6%(121,977)
・CO2合計 (kg-CO <sup>2</sup> )	163,396	△4%(156,907)	△5%(155,610)	△5%(155,610)
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (t)	7.1	△5%(6.7)	△5%(6.7)	△5%(6.7)
・産廃 (t)	118	△5%(112)	△5%(112)	△5%(112)
3. 総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	627	1%(633)	1%(633)	1%(633)
4. 高効率給湯器販売 (台)	41	45	目標未設定	目標未設定
5. グリーン購入 (%)	不明	42	42	42

\* 基準年度は、2011年1月～2011年12月

\* CO<sup>2</sup>排出係数は、H21年東京電力株の実排出係数0.384kg-CO<sup>2</sup>/kwhを使用した

\* ガソリン・高効率給湯器販売は全社分を表します

\* 一廃・産廃・グリーン購入の基準値は2011年度の年間予測値

##### 2012年度の運用結果(2012年1月～2012年12月)

	基準年	目標	実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量				
・電気 (kg-CO <sup>2</sup> )	18,956	△5%(18,008)	9%(20,584)	×
・ガス (kg-CO <sup>2</sup> )	14,677	△5%(13,943)	13%(16,588)	×
・ガソリン (kg-CO <sup>2</sup> )	129,763	△5%(123,275)	△6%(122,509)	○
・CO2合計 (kg-CO <sup>2</sup> )	163,396	△5%(155,226)	△2%(159,681)	△
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (t)	7.1	△2%(7.0)	△77%(1.6)	○
・産廃 (t)	118	△2%(116)	△60%(46.6)	○
3. 総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	627	△2%(614)	4%(653)	×
4. 高効率給湯器販売 (台)	41	40	52	○
5. グリーン購入 (%)	不明	実態調査	42	

○目標達成 △目標未達成但し基準年減 ×目標未達成

#### 4-2.環境目標・環境目標の実績(戸田・中央・朝霞・埼玉北)

##### 中長期目標

	基準年度	2013年度	2014年度	2015年度
1. 二酸化炭素排出量				
・電気 (kg-CO <sup>2</sup> )	18,557	0%(18,557)	0%(18,557)	0%(18,557)
・ガス (kg-CO <sup>2</sup> )	13,699	0%(13,699)	0%(13,699)	0%(13,699)
・CO2合計 (kg-CO <sup>2</sup> )	32,256	0%(32,256)	0%(32,256)	0%(32,256)
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (t)	1.3	△5%(1.2)	△5%(1.2)	△5%(1.2)
・産廃 (t)	13.2	△5%(12.5)	△5%(12.5)	△5%(12.5)
3. 総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	826	△1%(817)	△1%(817)	△1%(817)
4. グリーン購入 (%)	不明	42	42	42

\* 基準年度は、2011年1月～2011年12月

\* CO<sup>2</sup>排出係数は、H21年東京電力株の実排出係数0.384kg-CO<sup>2</sup>/kwhを使用した

\* 一廃・産廃・グリーン購入の基準値は2011年度の年間予測値

##### 3ヶ月の運用結果(2012年10月～2012年12月)

	基準年 同月	目標	3ヶ月実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量				
・電気 (kg-CO <sup>2</sup> )	4,318	△5%(4,102)	18%(5,105)	×
・ガス (kg-CO <sup>2</sup> )	1,916	△5%(1,820)	26%(2,413)	×
・CO2合計 (kg-CO <sup>2</sup> )	6,234	△5%(5,922)	21%(7,518)	×
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (t)	0.33	△2%(0.32)	△24%(0.25)	○
・産廃 (t)	3.3	△2%(3.2)	△45%(1.8)	○
3. 総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	119	△2%(117)	△13%(103)	○
4. グリーン購入 (%)	不明	実態調査	56	

○目標達成 △目標未達成但し基準年減 ×目標未達成

5-1.環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容  
(本社)

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 (電気) ①窓に遮光フィルムの貼り付け ②昼休みの消灯 ③エレベータの利用抑制	前年度比約9%増加。 東日本大震災から1年を経過した4月以降は、全ての月で消費電力が前年を上回ってしまった。	次年度は新たな取組みとしてLED照明の活用を検討
二酸化炭素排出量削減 (ガス) ①空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房23℃) ②ウォームビズ・クールビズの実施	前年度比約13%増加。 東日本大震災から1年を経過した4月以降は、殆どの月で、消費量が前年を上回ってしまった。	継続して実施
二酸化炭素排出量削減 (ガソリン) ①エコドライブの実施 ②燃費のチェック ③燃費のよい車の購入(買換え時)	前年度比約6%削減を達成。 殆どの月で、消費量が前年を下回る。 エコドライブの取組を着実に実践してきたことが、結果として表れた。	継続して実施
廃棄物排出量削減 ①作業ミスによる廃棄量の削減 ②両面コピーの推進 ③紙の溶解リサイクルの促進 ④ゴミ分別の促進	2011年度の年間予測廃棄量の見込み違いにより、実際の削減率を求めることはできないが、ゴミの分別や紙の溶解リサイクルに全社員で取り組んでいる。	継続して実施
総排水量の削減 ①節水シールの貼り付けとポスター 掲示 ②洗濯機の水量を設定(必要最低 限に)	前年度比約4%増加。 増加の原因は、2012年度より設置した花壇の維持・管理のためと考えられる。 今後は、花壇にウッドチップなどを敷きつめ、花壇の乾燥防止を図り、水の消費量を抑えていく。	継続して実施
高効率給湯器販売 ①エコジョーズの販売促進	目標より12台多く販売。 社会的なエコ意識の高まりと地道な販売活動により、目標を達成。今後は、お客様のエコ意識にも訴え、需要を喚起していきたい。	継続して実施
グリーン購入 ①グリーン購入対象品目調査 ②グリーン購入の推奨	グリーン購入の推奨を行った結果、事務用品に対するグリーン購入の比率がほぼ半数近く占めた。 今後も他の商品との価格比較を行いながらグリーン購入の比率を高めていく。	継続して実施

5-2.環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容  
(戸田・中央・朝霞・埼玉北)

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 (電気) ①昼休みの消灯 ②待機電力のOFF	前年度に比べ、今年度は一部営業所の増築などにより18%の増加となった。再度、取組みの徹底を図っていく。	次年度は新たな取組みとしてLED照明の活用を検討
二酸化炭素排出量削減 (ガス) ①空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房23℃) ②ウォームビズ・クールビズの実施	前年度に比べ、今年度は一部営業所の増築などにより26%の増加となった。再度、取組みの徹底を図っていく。	継続して実施する
廃棄物排出量削減 ①作業ミスによる廃棄量の削減 ②両面コピーの推進 ③紙の溶解リサイクルの促進 ④ゴミ分別の促進	ゴミの計量開始により、両面コピー・紙の溶解リサイクル・ゴミの分別が実践され廃棄量の削減進んだ。	継続して実施する
総排水量の削減 ①節水シールの貼り付けとポスター 掲示 ②洗濯機の水量を設定(必要最低 限に)	前年度比約13%削減を達成。声掛けやポスターの掲示により節水の意識付けがなされた。	継続して実施する
グリーン購入 ①グリーン購入対象品目調査 ②グリーン購入の推奨	グリーン購入の推奨を行った結果、事務用品に対するグリーン購入の比率がほぼ半数近く占めた。今後も他の商品との価格比較を行いながらグリーン購入の比率を高めていく。	継続して実施する

## 6.環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
廃棄物処理法 東京都北区廃棄物条例	事業系一般廃棄物	事業系廃棄物シール使用 OK
廃棄物処理法 埼玉県戸田市廃棄物条例 埼玉県朝霞市廃棄物条例 埼玉県白岡市廃棄物条例	事業系一般廃棄物	一般廃棄物収集運搬業に委託 OK
自動車から排出される窒素酸化物及び 粒子状物質の特定地域における総量の 削減等に関する特別措置法	車両49台	車検証 OK
特定製品に係るフロン類の回収及び 破壊の実施の確保などに関する法律	GHP室外機2台	廃棄時対応 OK

## 7.代表者による全体評価と見直しの結果

当社は、クリーンエネルギーであるLPGを供給する会社として、環境負荷低減に取り組んでおります。  
2012年度は、全ての営業所がエコアクション21の活動に加わり、会社全体で取り組んでまいりました。  
その結果、CO2および廃棄物の排出量は目標数値には届かなかったものの会社全体として削減することが出来ました。また、高効率給湯器の販売・グリーン購入の促進においても予想を上回る実績を残すことが出来ました。総排水量は新設した花壇管理の為、増加となりました。

今年度は、震災直後の前年に比べ、削減ペースが落ちたものの、着実に成果を残すことが出来ました。  
次年度以降も、社員の環境意識を高め、継続的かつ効率的に環境負荷低減に努めてまいります。  
今後も皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

次回発行予定日  
平成26年3月15日